

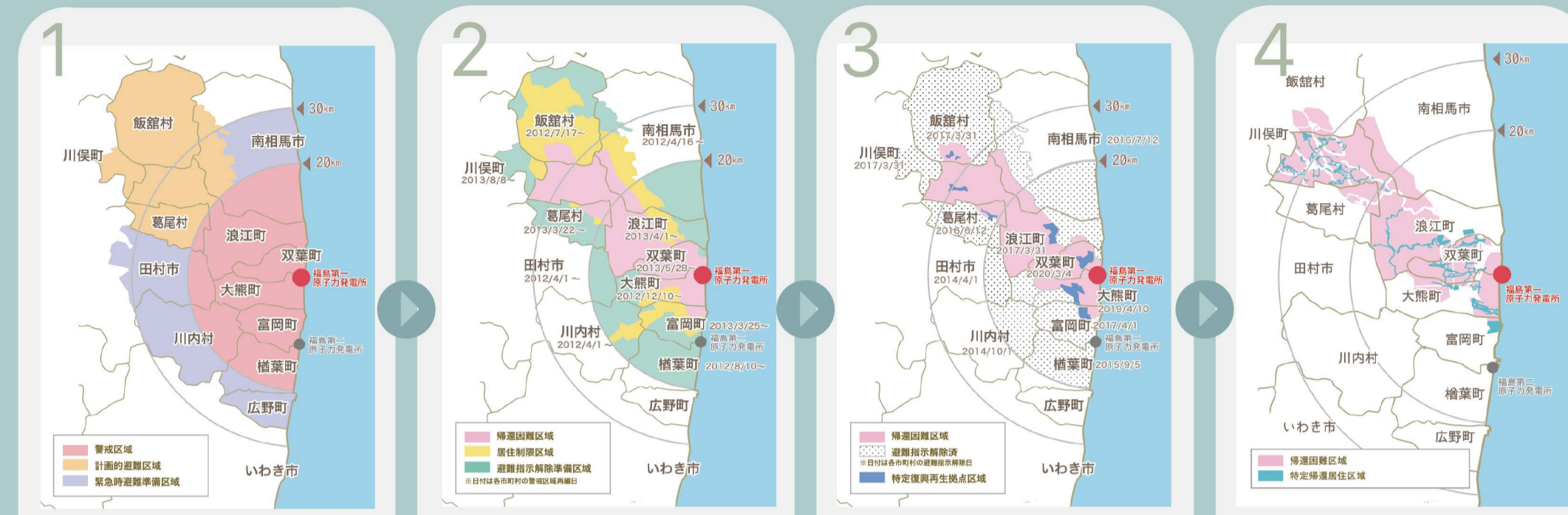
12市町村、復興の歩み

避難区域の変遷

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、双葉郡8町村と飯館村は全域で、南相馬市、田村市、川俣町は一部地域で住民避難を余儀なくされました。その後、避難区域の設定や警戒区域の再編を経て避難指示解除が順次進められました。将来にわたり居住を制限するとされた帰還困難区域についても、福島復興再生特別措置法の改正(2017年5月、2023年6月)により特定復興再生拠点区域の解除に続き、特定帰還居住区域の復興・再生への取り組みが進んでいます。

- 2011(平成23年)
- 3月11日 14:46 マグニチュード9.0の東日本大震災発生
 - 19:03 東京電力福島第一原子力発電所(以下:第一原発)原子力緊急事態宣言発令
 - 21:23 政府は第一原発から半径3km圏内に避難指示半径3km~10km圏内に屋内退避指示
 - 3月12日 5:22 東京電力福島第二原子力発電所(以下:第二原発)原子力緊急事態宣言発令
 - 5:44 政府は第一原発から半径10km圏内に避難指示
 - 7:45 政府は第二原発から半径3km圏内に避難指示、半径3km~10km圏内に屋内退避指示
 - 15:36 第一原発1号機で水素爆発
 - 17:39 政府は第二原発から半径10km圏内に避難指示
 - 18:25 政府は第一原発から半径20km圏内に避難指示
 - 3月14日 11:01 第一原発3号機で水素爆発
 - 3月15日 06:14 第一原発4号機で水素爆発
 - 07:15 第二原発の原子炉が全て冷温停止に
 - 11:00 第一原発から半径20~30km圏内の住民に屋内退避を指示
 - 4月5日 県教育委員会は相双地区の県立高校10校のサテライト方式を発表(相馬農業高校は2011.11.14、原町高校は2012.4.1本校復帰)
 - 4月22日 避難区域が「警戒区域」「計画的避難区域」「緊急時避難準備区域」に設定される(右図1)
 - 5月10日 警戒区域への一時立ち入りスタート
 - 9月30日 緊急時避難準備区域の避難指示解除(広野町は町長発令により避難指示継続。2012.3.31解除)
 - 10月10日 JR常磐線 久ノ浜駅(いわき市)~広野駅(広野町)間で運行再開
 - 12月26日 第二原発 原子力緊急事態宣言解除

- 福島第一原発からの距離と空間線量により避難指示区域が3区域に設定されました。
- 緊急時避難準備区域の解除後、警戒区域と計画的避難区域の再編が進められました。
- 除染やインフラ整備が進み、避難指示も段階的に解除されていきました。2020.3.4双葉町の避難指示解除準備区域やJR双葉駅周辺の避難指示が解除され、残る帰還困難区域も「特定復興再生拠点区域」の復興計画により、復興・再生への道筋が示されました。
- 「特定復興再生拠点区域」の解除が進む中、住民の意向により拠点区域外でも帰還を目指す「特定帰還居住区域」を設定できるよう2023年6月に法改正されました。大熊町、双葉町、浪江町、富岡町では「特定帰還居住区域復興再生計画」が国の認定を受け、帰還に向けた取り組みが進んでいます。



* 経済産業省ホームページに掲載の概念図に一部追記して作成しました。
* 特定帰還居住区域復興再生計画は、帰還意向のある住民全員の帰還を目指し、アクセス道路や日常生活に必要な施設、インフラ復旧・整備に必要な施設なども含めて策定されました。詳細は復興庁や各町のHPでご確認ください。

2012(平成24年)

- 4月1日 警戒区域、計画的避難区域の再編が始まる(2013.8再編完了:右図2)「帰還困難区域」「居住制限区」「避難指示解除準備区」に区別される

2013(平成25年)

- 6月17日 帰還困難区域の特別通過交通スタート

2014(平成26年)

- 2月22日 常磐道 広野IC~常磐富岡IC再開通
- 6月1日 JR常磐線 広野駅~竜田駅(楡葉町)間の運行再開
- 9月15日 国道6号の帰還困難区域区間(富岡町本町~浪江町高瀬)が、自動車に限り自由通行可能に

2015(平成27年)

- 3月1日 常磐道 常磐富岡IC~浪江IC開通(全線開通)
- 4月1日 県立ふたば未来学園(高校)開校
- サテライト校を設けていた双葉郡内5校は募集停止
- 10月19日 JAEA 楡葉遠隔技術開発センターが楡葉町に開所

2016(平成28年)

- 2月1日 県立大野病院附属ふたば復興診療所(ふたばりカール)楡葉町に開所
- 7月12日 JR常磐線 原ノ町駅~小高駅(南相馬市)間の運行再開

2017(平成29年)

- 3月1日 県立高校の卒業式により、サテライト校を設けていた双葉郡内5校(双葉高、双葉翔陽高、富岡高、浪江高、同高津島校)の全生徒が卒業し、休校となる
- 4月1日 JR常磐線 浪江駅~小高駅間の運行再開
- 4月1日 小高商業高校、小高工業高校が統合し、小高産業技術高校が開校
- 4月23日 JAEA 国際共同研究センター国際共同研究棟が富岡町内に開所
- 特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定が始まる(右図3)
- 9月15日 双葉町 11月10日 大熊町 12月22日 浪江町 2018年3月9日 富岡町 同4月20日 飯館村 5月11日 葛尾村
- 9月20日 国道114号線通行止め区間の解除(山木屋水境~浪江町室原)
- 10月21日 JR常磐線 竜田駅~富岡駅間の運行再開

2018(平成30年)

- 3月15日 JAEA 大熊分析・研究センターが大熊町に開所
- 4月23日 県立ふたば医療センター附属病院が診療開始(富岡町)
- 8月24日 特定産業物流立情報館「リブルふくしま」オープン(富岡町)
- 11月30日 東京電力廃炉資料館オープン(富岡町)

2019(平成31年/令和元年)

- 1月31日 大熊町に「中間貯蔵工事情報センター」オープン
- 4月8日 県立ふたば未来学園が中高一貫校となる
- 4月20日 原発事故対応拠点となった「ヴィレッジ」が全面営業再開
- 4月20日 JR常磐線 Jヴィレッジ駅開業

2020(令和2年)

- 特定復興再生拠点区域の一部で立入規制緩和、避難指示先行解除が始まる
- 3月4日 JR常磐線 双葉駅周辺とアクセス道路の避難指示解除
- 双葉町「特定復興再生拠点区域」の立入規制緩和
- 3月5日 JR常磐線 大野駅周辺の避難指示解除、一部区域の立入規制緩和
- 3月7日 常磐道 常磐双葉ICの供開始
- 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)が開所(浪江町)
- 3月10日 JR常磐線 線ノ森駅周辺とアクセス道路の避難指示解除
- 3月14日 JR常磐線 富岡駅~浪江駅間の運行再開(全線開通)
- 3月31日 福島ロボットテストフィールド全開所(南相馬市、浪江町)
- 7月17日 双葉町復興シンボル軸(県道井手長塚線)開通
- 9月20日 東日本大震災・原子力災害伝承館オープン/復興祈念公園一部供用開始

2021(令和3年)

- 3月8日 大熊町「特定復興再生拠点区域」一部立入規制緩和
- 11月30日 大熊町「特定復興再生拠点区域(全域)」立入規制緩和

2022(令和4年)

- 特定復興再生拠点区域の避難指示解除が始まる
- 6月12日 葛尾村、6月30日 大熊町、8月30日 双葉町

2023(令和5年)

- 特定復興再生拠点区域の避難指示解除が続く
- 3月31日 浪江町
- 4月1日 富岡町(夜の森、大菅の一部)、飯館村(区域全域と区域外・長尾曲田公園)
- 11月30日 富岡町(小長ヶ浜、深谷の一部)
- 6月3日 「陶芸の杜おぼり」営業再開(浪江町)
- 「特定帰還居住区域復興再生計画」が認定される
- 9月29日 大熊町、双葉町
- 9月30日 ふくしま浜道トレイル 沿岸ルート(新地町~いわき市まで218km)が開通

2024(令和6年)

- 「特定帰還居住区域復興再生計画」が認定される(右図4)
- 1月16日 浪江町、2月2日 大熊町(変更)、2月16日 富岡町、4月23日 双葉町(変更)
- 9月14日、15日 福島復興サイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま2024」が開催

かわたまち 川俣町

川俣町にはおいしいものがたくさんあるよ! ぜひ遊びに来てね!

川俣シャモ、川俣復興の象徴アンスリウム

いいたまち 飯館村

飯館村は「明日が待ち遠しくなる、わくわくするふささ」と目指しているんだネ!

飯館産黒毛和牛、なつはぜジャム

みなみそうまし 南相馬市

伝統行事「相馬野馬追」があり、ロボット関連の取り組みも進む。歴史と最先端技術が融合するまち

Minamisoma5.0、小高一味、寿司はね

たむらし 田村市

田村市は豊かな自然と文化とおいしい食べ物に恵まれるカブー

ゆいプリンリッチ、HOPJAPANクラフトビール

かつらおむら 葛尾村

村にかかわる全ての人が家族しみ~人のつながりがあたたかい葛尾に来てしみ~!

ホープホワイト(胡蝶蘭)、凍みもち

なみえまち 浪江町

うまいもんが増えたよ! お花もキレイ! ワクワクいっぱい! 浪江さ遊びにおいでね~!

鶴城壽、大塚相馬焼

ふたばまち 双葉町

七転び八起きの精神で復興を進める双葉町。これからの双葉町に注目してくださいね!

双葉ダマ、タキシメタファ(タオル)

おおくまち 大熊町

大熊町の復興は始まったばかり、新生・大熊町に遊びに来てね

おおくまべり(いちご)、町産酒米を会津で醸す

とみおがまち 富岡町

夜の森の桜の道を全部歩けるようになったっぴ 桜の木で桜でてるっぴ

パッションフルーツ、富岡魂

2021(令和3年)

- 3月8日 大熊町「特定復興再生拠点区域」一部立入規制緩和
- 11月30日 大熊町「特定復興再生拠点区域(全域)」立入規制緩和

かわうちまち 川内村

緑豊かな川内村!きれいな渓流にはいわなが泳ぎ、ゆっくりとした時間を過ごせるよ~

ワイン、そば

ならはまち 楡葉町

新しいチャレンジが次々に生まれる町へ!ばくはYouTuberをめざして町の見どころを発信中!

楡葉町の干し手、楡葉の風

ひろのまち 広野町

幼児教育から高校まで教育施設が集まる「教育の丘」。広野町は安心して子育てができるまち

バナナ(純菓)、みかん果汁100%ジュース

- 2011.3.11- 村全域が30km圏内の屋内退避区域に(14日)全村避難を決定し、郡山市のビッグバレットふくしまへ避難(16日)
- 2011.4. 小中学校が郡山市内(河内小・蓬瀬中)へ授業開始(13・14日)
- 2011.12.14 上川内水稲作実験圃2400㎡の安米で放射線物質が検出限界以下
- 2012.1.31 楡村宣言(3月川内村で役場再開、4月小中学校が村内で再開)
- 2014.10.1 避難指示解除準備区域解除、居住制限区域が避難指示解除準備区域に
- 2016.4.30 第1回 川内の郷かえるマラソン開催
- 2016.6.14 避難指示解除準備区域が解除され、村全域の避難指示が解除に

- 2011.3.11- いわき市の全町避難を指示、姉妹都市市津美里町へ集団避難(16日~)
- 2012.4.6 小中学校がいわき市内の仮校舎で再開(1月~ 災対本部いわき市に)
- 2012.8.10 警戒区域が避難指示解除準備区域に再編、町内全域の出入り自由が
- 2013.5.10 ブイチエーンネット本店が営業再開(旧警戒区域内のスーパー初)
- 2015.9.5 町全域の避難指示解除(2017年 南・北小、中学校が町内で再開)
- 2018.6.26 ここから笑店街オープン(7月 ならはCANVASオープン)
- 2022.7.16 岩沢海水浴場が12年ぶりに再開
- 2023.4.22 大地とまちのタイムライン(旧・楡葉町歴史資料館)開館

- 2011.3.11- 自主避難呼びかけ(12日)全町民へ避難指示(13日)小野町・埼玉三郷市などに町避難所を指定。小野町に役場機能移転(15日)
- 2011.4.15 役場機能をいわき市へ(22日)町全域が緊急事態宣言準備区域に)
- 2011.8.25 中央台南小で広野小再開(10月1日 湯本二中で広野中再開)
- 2012.3 役場機能が本来の庁舎へ(1日)町長発令の避難指示解除(31日)
- 2012.8.27 広野小・中学校、幼稚園、保育所が町内で再開
- 2012.10.14 2年ぶりに「ひろの童謡まつり」開催
- 2016.3.5 公設商業施設「ひろのてらす」オープン

福島大学では、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興を支援するために被災地域と福島大学をつなぐ現地の拠点として、2012年6月、川内村に相双地域支援サテライトを開設しました。現在は富岡町と浪江町にサテライトを設置し、被災12市町村を対象に地域の復興や教育環境整備の支援を行い、地域連携をサポートしています。

福島大学地域未来デザインセンター 相双地域支援サテライトについて

ぐるぐるMAPIは、相双地域支援サテライトがコーディネートした双葉郡8町村の復興推進業務に携わる役場職員が定期的に開催していた「ふたばの明日を考える会」でのアイデアから2016年に生まれました。当初は双葉郡広域MAPとして発行していましたが、2022年発行の第7版からは川俣町、飯館村、田村市、南相馬市の情報を加えた12市町村広域MAPとして発行しています。